

令和2年度 幼魚(0+) 移動実態調査結果①

【バイパス水路入口、本川との接続箇所下流地点のサクラマス幼魚(0+) 降下状況(トラップ採捕)】

・4/23～6/15までの各地点における総数 ※R2は採捕状況を踏まえて6/15まで実施

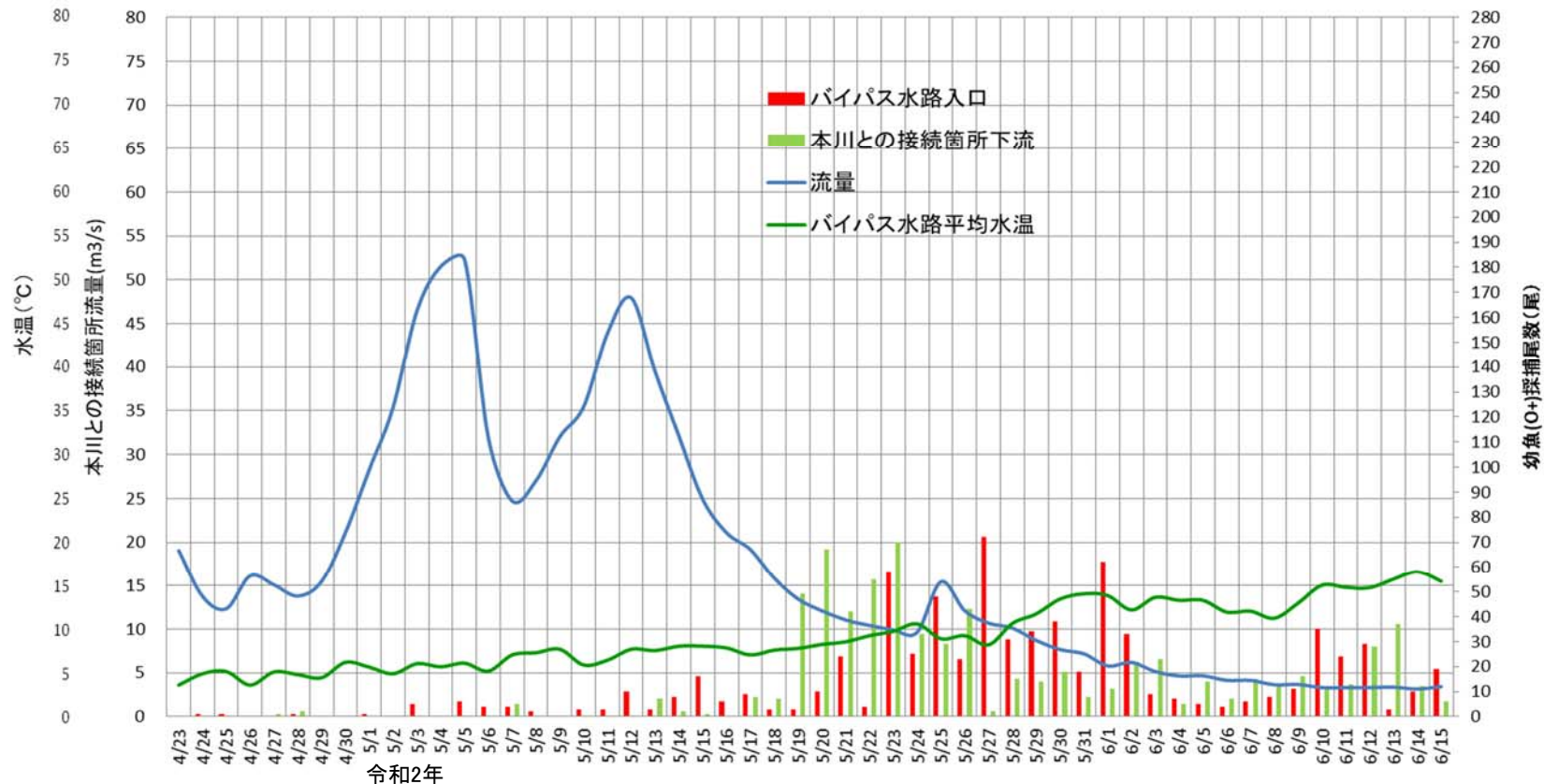
バイパス水路入口地点・・・739尾 本川との接続箇所下流地点・・・ 710尾

参考:R1 4/24～6/13までの各地点における総数

バイパス水路入口地点・・・2,073尾 本川との接続箇所下流地点・・・2,822尾

・バイパス水路入口地点、本川との接続箇所下流地点において、5月下旬頃に多くの個体が確認された。

本川との接続箇所地点のサンプル川流量とバイパス水路、本川との接続箇所下流地点の幼魚(0+) 採捕状況(トラップ採捕)



スモルトの降下調査結果の概要

【令和2年度サンル川の状況及びスモルト降下時期について】

- ・令和2年度のサンル川融雪出水ピーク流量は平成29、30年度に比べ少なく令和元年度と同程度であった。5月上旬の降雨に伴い流量が増大した以降、緩やかに減少が続き、5月下旬に10m³/s以下となり、以降、水量は減少し続けることとなった。
- ・本川との接続箇所のバイパス水路入口地点でのスモルト降下状況は、5月7日から連続的に採捕され、水温が10℃以上となった5月下旬より多く採捕され始め、5月26日にスモルト採捕尾数69尾でピークとなり、6月上中旬までの間に多く確認され、降下がほぼ終了した6月15日までのスモルト採捕尾数は811尾であった。
- ・階段式魚道地点でのスモルト降下状況は、5月9日から連続的に採捕され、水温が10℃以上となった5月下旬より多く採捕され始め、6月4日にスモルト採捕尾数162尾でピークとなり、6月上中旬までの間に多く確認され、降下がほぼ終了した6月15日までのスモルト採捕尾数は1,444尾であった。
- ・ダム地点下流の放牧地橋地点では、5月下旬頃に最も多くのスモルトが採捕された。

【令和2年度サクラマス幼魚(0+) 移動実態確認について】

- ・スクリュートラップでのスモルト採捕時に、サクラマス幼魚(0+)がバイパス水路入口部及び本川との接続箇所下流部でそれぞれ739尾、710尾が採捕され、孵化、浮上後は広域に移動・分散していることが確認された

【令和2年度バイパス水路のサクラマス幼魚生息確認について】

- ・バイパス水路内の11月の越冬移動期、12月の越冬初期の調査において、サクラマス幼魚の生息が確認された。